

(別記様式)

令和7年度 府立丹波支援学校亀岡分校 学校経営計画（スクールのマネジメントプラン） 【実施段階】

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>花ノ木医療福祉センターに入所している児童生徒を教育する学校であるという分校の特性及び特別支援教育の考え方を踏まえ、以下のことに取り組む。</p> <p>(1) 学校経営計画に基づき計画的・組織的・効率的な経営を推進する。</p> <p>(2) 一人一人の教育的ニーズに応じた指導を推進する。</p> <p>(3) 安心・安全の教育活動を推進する。</p> <p>(4) 保護者、花ノ木医療福祉センター、地域等、関係する諸機関と円滑な連携を図る。</p> <p>(5) 教職員のメンタルヘルスケアを図る。</p>	<p>【成果】</p> <p>①児童生徒の体調面を前提に、指導体制を工夫し、できる限り複数で学習できるように工夫できた。（特に10月）</p> <p>②生活単元学習、音楽、図工美術と、講師を招聘して研修し、授業改善に生かすことができた。</p> <p>③感染しやすい児童生徒の実態から、即コロナ前のやり方に戻せないが、対面での交流等、花ノ木と相談して取り組み方の工夫できた。</p> <p>④舞鶴支援学校行永分校との交流等、交流の幅が広がった。学校だよりの地域への回覧など発信の仕方を工夫できた。</p> <p>【課題】</p> <p>①ICT機器の活用について（学習・校務・保護者連絡等）基本的な取組はできたが、機器の設定等、専門的なことは進められなかった。専門的なことについてサポートが必要である。</p>	<p>(1) 集団での学び合いの場や教材を工夫し、今を大切に学習を成立させる。 →多目的室や学校等ならではの教材を工夫し、できる限り複数で学習できるよう指導体制を整える。</p> <p>(2) 研修等を実施して児童生徒理解を深め、個に応じた指導を充実させる。 →新入生や転校生等のアセスメントを丁寧に行い、各児童生徒のニーズに応じた授業作りを行う。 →「ながれ図」の作成を通して →校務システム（賢者）の作成を通して</p> <p>(3) 感染予防対策を見直し、安全安心を確保しつつ、直接交流等、新たな交流の仕方や内容を工夫する。 →近隣の小学校との交流の方法を工夫する。</p> <p>(4) 分校・花の木交流会や地域の方とふれあう機会を工夫する。</p> <p>(5) ICT機器の活用を充実させる。 （学習・校務・保護者連絡等） →活用方法を教えあって広め、意識して活用する。</p> <p>(6) 教育相談のシステムを構築する。 →研修等を企画し、SCと保護者をつなぎ、保護者の利用を促す。</p>
<p>※（運）→ 運営会議 （教）→ 教務部 （研）→ 研究部 （保）→ 保健部 （高）→ 高等部分教室 （医ケア）→ 医療的ケア担当者会 （危）→ 危機管理対策委員会 （情）→ 情報担当 （交）→ 交流及び共同教育担当</p>		

評価領域		重点目標	具体的方策	評価		成果と課題
組織運営	学校経営 (運)	働き方改革の推進に向けて中心的な役割 感染症対策や指導体制等、よりよい学校運営の検討。	<ul style="list-style-type: none"> 月2回の運営会議の議題を精選し、効率的に進めるとともに、回数縮減を検討する。 各分掌の計画の進捗状況をチェックし、計画をやりきる。 	C	C	<p>○学校運営に係る内容を検討し、担任者会や職員会議での議題の事前確認を行った。</p> <p>▲教職員が少人数のため、運営会議と担任者会との差異があまり無い。運営会議の回数縮減を継続して検討する。</p> <p>▲家庭連絡については電話で行うことから先に進まなかった。メールやSNSの活用を、その予算の捻出方法についても検討が必要である。</p> <p>○ヒヤリハット事象に関わったもので報告書を作成し、提出されるたびに職員朝礼で読み上げて周知した。</p> <p>○花ノ木医療福祉センターの感染対策基準に準じながら、近隣の状況について校医や薬剤師、学校産業医、報道等からの情報を得て、分校として必要な感染予防対策を意識した。</p> <p>▲今年度途中から、熱中症対策もあってマスク着用条件を緩和した。場に応じた適切な感染症予防については、都度、確認しながら徹底していく必要がある。</p> <p>○年度始めに、教職員で避難経路及び避難方法について歩いて確認した。車イスや呼吸器と使った実際を想定した研修は毎年必要である。</p> <p>▲消防署との日程調整ができず、予定していた研修ができなかった。(年度末に大枠で日程を決めておき、4月上旬には予約を行う)。AED研修を児童の緊急時訓練の一環で、教職員の一部は病棟看護師より研修を受けた。</p> <p>○HPの更新や学級だよりの発行は定期的に来たが、地域への発信が不十分だった。個人情報への取扱いについて徹底しながら、我部への発信に係る保護者の理解にも努める。</p> <p>▲「心理的安全性」をキーワードに職場環境の改善を進めた。勤務時間の効率化は十分ではなく</p>
	保護者連携 (教)	行事等の計画的、柔軟な運営	<ul style="list-style-type: none"> 感染等による急な変更についても、できるだけ早く連絡できるツールを構築する。 	C	C	
	医療連携 (医ケア)	花ノ木医療福祉センターとの綿密な連携 医療的ケアの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット事象について原因分析を行いやすい書式にすることで、対応策を学校全体で共有・確認する。 	A	A	
	危機管理 (危)	〔感染対策〕 校内における感染予防対策の整備及び徹底	<ul style="list-style-type: none"> 花ノ木医療福祉センターと連携した基本的な感染対策を徹底しながら、安全かつ充実した教育活動の実施に向けてその内容について整理する。 	B	B	
			<ul style="list-style-type: none"> 学校医や薬剤師等と連携し、近隣の感染症等の状況を正確に把握することで、様々な活動における感染予防対策を徹底する。 	B		
		〔防災対策〕 災害時を想定した避難訓練や屋内消火栓や消火器の使用方法及び管理方法についての訓練及び確認	<ul style="list-style-type: none"> 避難経路や避難方法について再確認し、避難訓練をとおして車イスや呼吸器等の扱いについて共通理解を図る。 消防署から講師を招き、屋内消火栓や消火器の使用方法及び管理方法について学ぶ。 	B	C	
	〔緊急時の基本的な対応〕 緊急時の対応の基本の再確認及び習得	<ul style="list-style-type: none"> 全員で消防署の普通救命講習を受け、AEDの扱い方や心肺蘇生の手技を身につける。 	C	C		
	情報発信 (情)	ホームページの更新と活用 学校だよりをはじめとする地域への効果的な情報発信方法の検討	<ul style="list-style-type: none"> 日々の学校や学習の様子を保護者・地域へ積極的に発信し、亀岡分校についての理解度を高める。 	B	B	
業務改善 (運)	心身ともに健康に働ける職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> 教育の質の向上に努めながら、勤務時間内の時間の活用(会議、教材研究等)を効率よく進行させる工夫を出し合い、働 	B	B		

	健康安全 (保)	組織活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> き方改革を進める。 ・スクールカウンセラーと連携し、保護者及び教職員の健康や精神衛生におけるサポート体制を整備する。 ・医療的ケア担当者会と連携し、学期始めの緊急対応研修を企画運営する。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 、残業時間についても偏重がある。 ○スクールカウンセラーを講師として年2回の研修を行った。保護者が参加しやすい研修のあり方を検討する。 ○緊急対応の各印をない学期始めに実施できた。 ○就学相談の年間スケジュールを一定確立するができた。これを基に次年度以降も進める。
	就学相談 (教)	各分掌との円滑な連携、会議・行事等の計画・運営	<ul style="list-style-type: none"> ・就学相談について一定の流れを確立する。 	B	B	
	教育課程	学習指導 (教)	「今を生きる子ども達」への教育課程の編成・計画・実施	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態に合わせた教育課程についての理解を学習指導要領、教育課程の研修等を校内研で取り入れながら行う。 ・校内研の希望を集約し、児童生徒の実態把握や授業について検討できる場を適切に設定できるようにする。 	C	
研究 (研)	「今の自分の力を発揮できる」ための授業作りの研究	<ul style="list-style-type: none"> ・教科等合わせた指導「生活単元学習」の研究授業及び授業改善等のアドバイスを専門家から受け、教科の視点や評価基準を研修しよりよい授業作りを実施する。 ・専門家からアドバイスをいただいたり校内で研修を進めたりしながら、自立活動の流れ図を作成し、個に応じたより良い授業づくりを実施する。 	B	B		
健康安全 (保)	児童生徒の保健管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・花ノ木医療福祉センター及び保護者と連携し、個人の特性や健康状態を的確に把握する。 ・感染予防対策を含めた日常の疾病予防及び校内衛生管理を徹底し、安全な学習環境を整備する。 	A	B		
		個の特性に応じた保健教育	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断事前指導を実施し、児童生徒の「からだ」への関心を深め、指導者と共 	A	B	

		の実現	に健康な「からだづくり」に取り組む。 ・保健ニュースの発行を通して、児童生徒の保健教育への興味関心を深める。	B			。参観日に行う等、担任による工夫もあり、保護者にも子ども達へのかかわりをより深めてもらうことができた。
地域連携	交流及び共同教育（交）	「地域に根ざし、地域と生きる学校」を目指すために、新しい形の交流及び共同学習の推進	・近隣の学校との交流について、お互いに学びのある内容を検討する。	B	B	B	▲近隣の小学校との交流は直接交流を行った。お互いに日々の学習の様子を発表し、知り合うことができたが感染症対策や児童生徒の不調等で双方向のコミュニケーションが課題である。 ○本校児童生徒や訪問生との交流を計画して行った。 ▲芸術鑑賞会にセンターの入所者を招待したが、交流及び共同学習までには至っていない。 ○夏の地域学校に1ブース設けて参加し、「亀岡分校クイズ」で映像出演した。花ノ木ふれあいまつりでも1ブース設けて、学習の様子を写真掲示したり、教材を展示して参加者が体験できるようにしたりして分校の紹介を行った。
			・学校内（本校の各学部児童生徒や訪問生）との交流を充実させる。	B			
			・亀岡分校卒業生と在校生とを繋ぐ花ノ木医療福祉センターとの交流及び共同学習を実施する。	C			
			・「地域に根ざし、地域と生きる学校」を目指し、地域の人・場所との交流の在り方を検討する。	B			

学校運営協議会による評価	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の実態に即した教育活動が実践されている。また、在籍する子ども達を主軸として様々な形でのインクルーシブな関係の構築を検討されているところも特色を生かした取組としての意味がある。 ・花ノ木医療福祉センターと連携し、感染予防や安全面の対応を行いながら、手厚い教育がなされている。 ・児童生徒数が増加し、また障害種も多様化する中で、教職員の負担を少しでも軽減できるような地域資源を活用する等を検討されるとよい。
--------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度に向けた改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員がメンタル面において健康で、児童生徒への教育活動を楽しめる働きがいのある職場づくりに努める。 ○保護者や花ノ木医療福祉センターとのより良い連絡手段を構築する。 ○日々の安全点検や緊急時対応訓練、その他の外部講師を招いた校内研修を計画的に実施し、有事に備える。 ○花ノ木医療福祉センターを含む外部専門家の助言を得ながら、安全で、また児童生徒の障害による課題に応じた授業改善に引き続き努める。 ○スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用をとおして、教育相談や学校・諸機関との連携を充実させる。
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------